
赤 潮 警 報 (ヘテロシグマ アカシオ)

鹿児島県水産技術開発センター
令和 7 年 5 月 22 日

鹿児島湾赤潮警報 No. 1

鹿児島湾にヘテロシグマ アカシオによる赤潮注意報(5/20付)を発出しているところですが、昨日(5/21)当センターが調査した結果、湾奥部で着色域が確認され、今後、漁業被害が発生する恐れがあることから、本日付けで赤潮警報を発出します。

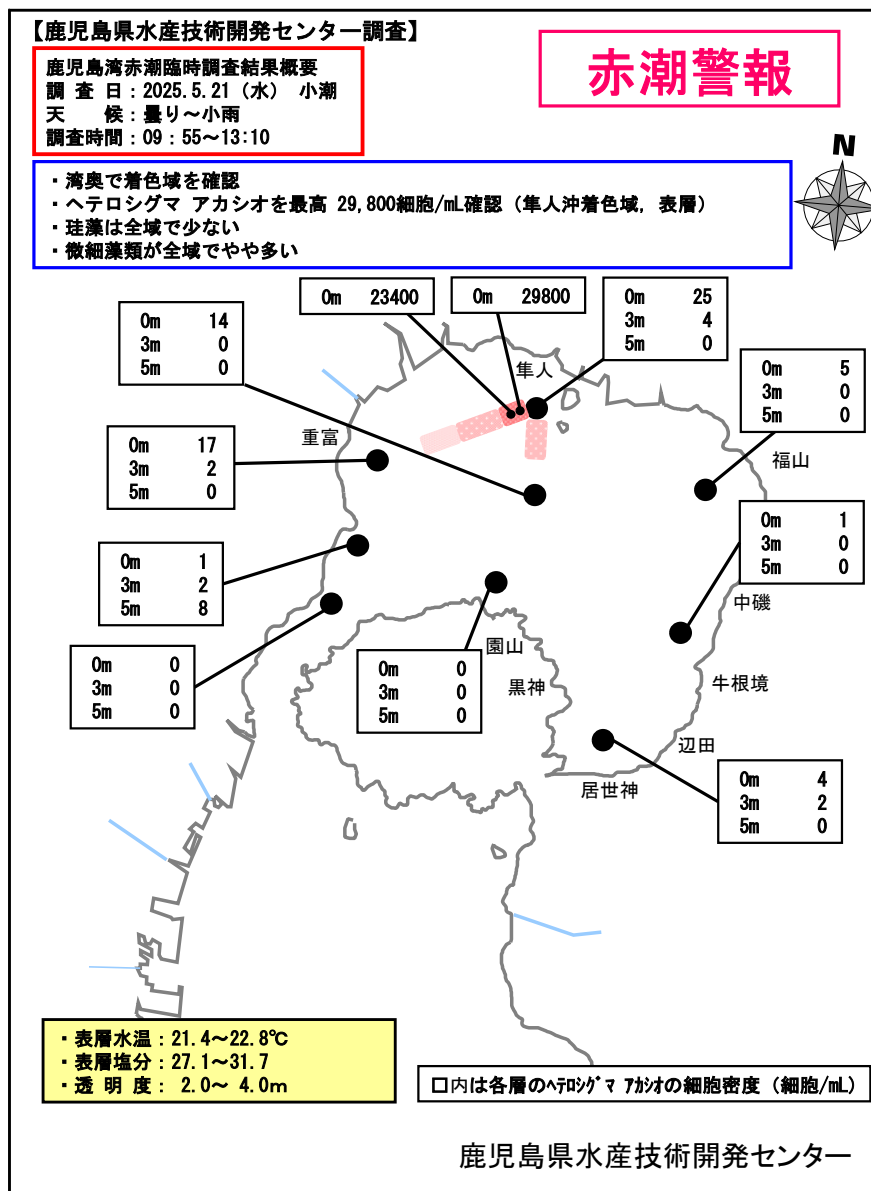
[1] 5月21日の調査結果

霧島市隼人～始良市加治木沖の広い範囲でヘテロシグマ アカシオの着色域が確認され、最高細胞密度は29,800 細胞/mL(隼人沖)でした。また、珪藻類は全域で少なく、微細藻類が全域でやや多い状況でした。

[2] 今後の赤潮発生の予想

5月21日現在、水温は21.4～22.8℃とヘテロシグマ アカシオの好適範囲となっていること、今後、降雨による栄養塩の供給が想定されること、競合種である珪藻類が少ないことから、細胞密度がさらに増加し、赤潮が拡大する可能性があります。

各漁協・養殖業者におかれましては、検鏡により細胞密度を把握し、海水の色や魚の状態に細心の注意を払うとともに、餌止めを実施する等の十分な対策をお願いします。



※ヘテロシグマ アカシオの特徴

- 適水温15-25℃
適塩分はきわめて広い。
- 魚毒性が強く、致死細胞密度はブリ類で10万細胞/mL前後、カンパチで3万細胞/mL前後。

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

